

第 19 回 エレクトロヒートシンポジウム (WEB 開催)

開催結果報告書

令和 6 年 12 月
一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

1. 開催概要

- (1) 開催期間 令和6年11月1日(金)～11月30日(土)
- (2) 開催方法 WEBによる配信(閲覧URL: <https://jehc-sympo.com>)
- (3) テーマ 電気のチカラでGXに貢献 めざせ！世界をリードする脱炭素技術
- (4) 主催：一般社団法人日本エレクトロヒートセンター
- (5) 共催：日刊工業新聞社
- (6) 後援：経済産業省、環境省、日本商工会議所
- (7) 協賛：(一社)エネルギー・資源学会、(公社)化学工学会、(一社)環境共創イニシアチブ、(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)再生可能エネルギー長期安定電源推進協会、(一財)省エネルギーセンター、(一財)素形材センター、(一社)地球温暖化防止全国ネット、(一社)電気学会、電気事業連合会、(一社)電子情報技術産業協会、(一財)電力中央研究所、(一社)日本印刷産業連合会、(一社)日本機械学会、(一社)日本機械工業連合会、(公社)日本技術士会、(一社)日本金属熱処理工業会、(一社)日本工業炉協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本食品工学会、日本製薬工業協会、日本製薬団体連合会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳鍛鋼会、(一社)日本厨房工業会、(一社)日本電気協会、(一社)日本電機工業会、(特非)日本電磁波エネルギー応用学会、(一社)日本熱処理技術協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)農業電化協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター

2. 実施内容

(1) 全体

第19回エレクトロヒートシンポジウムは、昨年に続きWEBにより開催することとした。

WEB開催の特徴を生かし、主催者挨拶・開催趣旨、基調講演、特別講演、技術発表を事前収録し、開催期間中オンデマンド配信を実施、技術発表については10テーマ配信。技術展示は、バーチャルブースに49の企業・団体・研究機関が集結。各出展者WEBコンテンツ(PDF)を展示し、資料ダウンロード、動画視聴はじめZOOM面談等を可能とした。

前回新企画として追加した学生等の来場者数を増やすためのコンテンツ『エレクトロヒート業界大図鑑』の「エレクトロヒートに関わる仕事紹介」のコーナーに動画を採用し、より親しみやすいサイト作りを行った。また、学生の参加を誘起するため「GXに貢献する技術研究紹介」のコーナーを新設し、エレクトロヒートに拘らず、GXに貢献する研究についての紹介をバーチャル展示方式で行っている。

WEB開催につき、初回、ID(メールアドレス)、PW(任意)を登録すれば、期間中は「お使いの各種デバイスで」「いつでも」「何処でも」「何度でも」視聴、閲覧を可能である。

(2) コンテンツ

【主催者挨拶・開催趣旨】

『電気のチカラで GXに貢献 めざせ！ 世界をリードする脱炭素技術』

内山 洋司氏(一般社団法人日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長)

【講演エリア】

■基調講演『エネルギー政策の方向性について』

小高 篤志氏（経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課 戦略企画室 室長）

■特別講演①『GXに貢献する「エレクトロヒート」の未来』

渡邊 弘子氏（一般社団法人 ものづくりなでしこ 代表理事（富士電子工業株式会社 代表取締役社長））

■特別講演②『来るカーボンプライシング制度に向けて ～GX政策を読み解く～』

高木 航平氏（株式会社三菱総合研究所 エネルギー・サステナビリティ事業本部 GXグループ研究員）

【技術発表エリア】

■ [抵抗加熱] 新熱工業株式会社

シーズヒータを組み込んだ製品と技術のご紹介

■ [電磁波加熱] 九州大学 大学院工学研究院

マイクロ波加熱製鉄プロセスの開発における廃プラスチックの利用可能性

■ [誘導加熱] 富士電波工業株式会社

誘導加熱の高温炉への適用

■ [赤外線加熱] コーテック株式会社

赤外線・熱風ハイブリッド炉による塗装乾燥工程の革新

■ [アーク加熱] 東京製鐵株式会社

電炉による「脱炭素社会」と「循環型社会」への貢献

■ [ヒートポンプ] 株式会社ササクラ

補助金も活用可 MVR 型蒸発濃縮装置で CO2 排出量最大 90%超カット！

■ [ヒートポンプ] ダイキン工業株式会社

新型モジュールチラー「HEXAGON GX」と遠隔監視制御・システム性能診断サービスについて

■ [ヒートポンプ] 一般社団法人電力中央研究所

IEA ヒートポンプ技術協力プログラム Annex 58（高温ヒートポンプ）の参加報告

■ [ヒートポンプ] 中部電力株式会社

洗浄工程向け循環加熱ヒートポンプ「エコ de ヒート EX」の開発

■ [業務用電化厨房] フクシマガリレイ株式会社

IoT-PF を利用した様々な厨房機器の管理と衛生管理を一元化できるシステム

【期間限定特別配信】

■ 「酷暑対策と、CO2 削減の両立を目指した自然エネルギー活用の超高効率熱交換器システムについて」

MDI 株式会社

11 月 5 日～11 日配信

■ 「ヒートポンプ導入検討のノウハウ移転サービス」

ほっとコンサルティング株式会社

11 月 12 日～18 日配信

■「企業が脱炭素に取り組む方法とは ～脱炭素の計画策定から具体策の実行まで～」

関西電力株式会社

11月19日～25日配信

・11月26日～30日 全件緊急公開

【技術展示エリア】

■バーチャルブース展示企業・団体等（49者）※50音順、敬称略

MDI、沖縄電力、加島、カツラギ工業、関西電力、九州電力、高周波熱錬、コベルコ・コンプレッサ、ササクラ、四国電力、島田理化工業、省エネルギーセンター、生活デザイン研究所、第一高周波工業、ダイキンアプライドシステムズ、ダイキン工業、谷口ヒーターズ、中国電力、中部電力ミライズ、テクノカシワ、電気興業、電気事業連合会、電力中央研究所、東京商工会議所、東京電力エナジーパートナー、東北電力、トクデン、日本キヤリア、日本電熱、ヒートポンプ・蓄熱センター、日立プラントサービス、広築、富士経済、富士電機、富士電子工業、富士電波工機、富士電波工業、プラウテック、北陸電力、北海道電力、前川製作所、三浦工業、ミクロ電子、三菱重工サーマルシステムズ、三菱電機、電化厨房ドットコム、日本エレクトロヒートセンター

【エレクトロヒート業界大図鑑】

■GXに貢献 未来を創る 研究紹介 ※50音順、敬称略

大阪大学大学院工学研究科 下田研究室、大阪大学大学院工学研究科 芳澤研究室、九州大学大学院 食品製造工学研究室、国土舘大学理工学部 二川研究室、東京電機大学 建築エネルギー研究室、東北大学大学院工学研究科附属 超臨界溶媒工学研究センター、山形大学大学院理工学研究科 古川研究室

■電気の子カラで GX に貢献 お仕事紹介

活躍されている若手社員のインタビュー ※50音順、敬称略

AIHO、ササクラ、第一高周波工業、大同特殊鋼、東京電力エナジーパートナー、広築、富士電波工機、メトロ電気工業

■電気の子カラで熱を制す（エレクトロヒートが解決）

解説動画等で分かりやすく解説

■なるほど なるほど 電気の子カラ

加熱種類ごとの基本的な理論や特長を、家電の例や導入事例を紹介しながら説明

■電気の子カラで世の中を変える 仲間たち

シンポジウム出展企業のリクルートサイトご紹介

（3）WEB 開催の広報強化

第19回エレクトロヒートシンポジウムは、前回新企画として追加した学生等の来場者数を増やすためのコンテンツ『エレクトロヒート業界大図鑑』の「エレクトロヒートに関わる仕事紹介」のコーナーに動画を採用し、より親しみやすいサイト作りを行った。また学生の参加を誘起するため「GXに貢献する技術研究紹介」のコーナーを新設し、エレクトロヒートに拘らずGXに貢献する研究についての紹介を行うことにより、学生の参加並びに先生から生徒への意欲のきっかけづくりにもなっている。

目標達成に向け、案内リーフレットや過年度開催シンポジウム参加者等のJEHCメルマガ会員およびJEHC関係先へのメール配信に加え、共催である日刊工業新聞社と協力した紙面・バナー広告およびメルマガの対象を拡大、プレスリリースによるパブリシティ(新聞、業界紙・誌)への情報提供を行った。さらに、会員企業や電力会社が保有する各地域の顧客リソースを活用し、ホームページへのバナー広告設置やメール・メルマガを活用した積極的な情報発信により、全国的な規模、また開催全期間を通し、エレクトロヒートシンポジウムの広報・告知活動に取り組んだ。

- すだれ広告 (11/1 掲載)

[illegible]

日本エレクトロヒートセンター

**P
R**

第19回 **エレクトロヒートシンポジウム**

「電気のチカラでGXに貢献をめざす」

世界をリードする最新技術
電力・ガス・水・熱・冷熱・蓄電・再生可能エネルギー

11月10日～11月30日

エレクトロヒートシンポジウム

EMS2024 参加無料

11月10日～11月30日

WG2開催

11月10日～11月30日

熱の脱炭素化 待ったなし

脱炭素の切り札
 日本の脱炭素化は、電力の脱炭素化が鍵。電力の脱炭素化は、再生可能エネルギーの活用、原子力の活用、水素の活用、CO2の回収・利用など、様々な技術が必要。その中でも、電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。

電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。

電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。

電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。電気のチカラでGXに貢献をめざすことが、最も効果的。

電化技術でGX章

[illegible]

③ 電気新聞紙面広告、記事

- ・広告[半5段] (11/5 掲載)

第19回 エレクトロヒートシンポジウム
電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

プログラム
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 エネルギー政策の方向性について 経済産業省 産業エネルギー部 資源政策課 佐藤 功 氏
 GXに貢献する「エレクトロヒート」の未来 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター 代表理事 佐藤 功 氏
 最先端のカーボンプライシング制度に迫る ―GX政策を読み解く― 株式会社三菱総合研究所 エネルギー・環境研究所長 佐藤 功 氏
 最先端のカーボンプライシング制度に迫る ―GX政策を読み解く― 株式会社三菱総合研究所 エネルギー・環境研究所長 佐藤 功 氏
 最先端のカーボンプライシング制度に迫る ―GX政策を読み解く― 株式会社三菱総合研究所 エネルギー・環境研究所長 佐藤 功 氏

参考：開催中記事 (11/8 掲載)

エレクトロヒートシンポジウム
GX社会へ産業電化
最新技術を広く発信
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

④ WEB 広告

- ・日刊工業新聞電子版 (レクタングルバナー等 8/1～11/30 配信)

パソコン版

日刊工業新聞
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

スマートフォン版

日刊工業新聞
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

- ・JEHC 関連 WEB ページ (JEHC ホームページ、産業用ヒートポンプ.COM、電化厨房.COM)

一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター
 JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER
 エレクトロヒートシンポジウムちよい見せ
 第19回 エレクトロヒートシンポジウム 11月30日(土) 17:00まで開催中
 ロボティクスは下の画像をクリック!!
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

産業用ヒートポンプ.COM
 What's new 新着情報
 イベント・セミナー
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

電化厨房.COM
 電気の子カラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術
 GX実現するために必要なエレクトロヒート技術「産業電化」の最新の動向を総括
開催日 2024年11月1日(金)～11月30日(土) **主催** 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

⑤ 協賛団体、出展者ホームページ掲載 ※敬称略

- ・地球温暖化防止全国ネット、化学工学会、日本食品工学会、日本電磁波エネルギー応用学会、日本熱処理技術協会、富士電子工業、MDI、テクノカシワ、メトロ電気工業、加島、高周波熱錬、第一高周波工業、谷口ヒーターズ、東京電力エナジーパートナー、日本電熱、富士電機、富士電波工業（ほか）

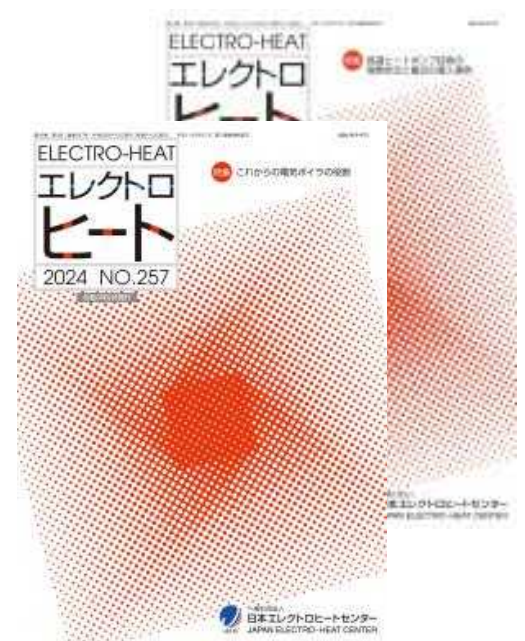
⑥ 業界紙広告

- ・工業加熱 11月号（11/1 発刊）、省エネルギー10・11月号（9/30、10/30 発刊）、エレクトロヒート9・11月号（9/15、11/15 発刊）、エネルギーフォーラム 11月号（11/1 発刊）

広報紙面



エレクトロヒート9・11月号



⑦ パブリシティ記事

- ・電気新聞（10/25、11/8）
- ・熱産業経済新聞（10/25）

⑧ メール（メルマガ）

- ・過去および新規シンポジウム来場者等へのメール配信
（7/10、8/13、9/11、10/1、10/9、10/10、10/17、10/23、10/28、11/1、11/5、11/7、11/12、11/19、11/21、11/22、11/26、11/29：約13,000人）
- ・日刊工業新聞ターゲティングメール（10/25、11/8 配信：約4万人）
- ・ものづくり日本会議登録者（11/1 配信：1.6万人）
- ・地方（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、九州）経済産業局よりメール配信
- ・東京商工会議所より、全国の商工会への発信

⑨ 学生を中心とした新規視聴者拡大

- ・エレクトロヒート業界大図鑑「GXに貢献する技術研究紹介」の新設による出展研究室の参加
- ・各電力に関わりのある大学先生からの学生への入場登録送付

①（課題）加熱方式別の入口では見たい内容の検索ができない
（対応１）プログラムからのリンク閲覧

（対応2）業種別、用途別のキーワード検索構築

8

②（課題）リアルとWEBの併用

（対応1）ライブ配信活用等、双方向コミュニケーションによるリアル代替



（対応2）出展者の他展示会の情報提供

リアルで出逢える企業（会社別）

出展企業名	展示会名	会場	期間
MD I 株式会社	ENEX2025	東京ビッグサイト	2025.01.29-2025.01.31
関西電力株式会社	第3回製造業カーボンニュートラル展 ENEX2025	東京ビッグサイト	2025.01.22-2025.01.24 2025.01.29-2025.01.31
株式会社サクラ	ENEX2025		
三建産業株式会社	2024日本タ		
株式会社生活デザイン研究所	メディケアフーズ		
東京商工会議所	ビジネスチャン		
東北電力株式会社	ENEX2025		
トクデン株式会社	コンバーテック		
（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター	ENEX2025		
株式会社広築	第32回日本JIMTOF20 2024日本タ		
富士電子工業株式会社	第32回日本JIMTOF20		
マイクロ電子株式会社	フードテック		
メトロ電気工業株式会社	エコプロ202		
（一社）日本エレクトロヒートセンター	ENEX2025		

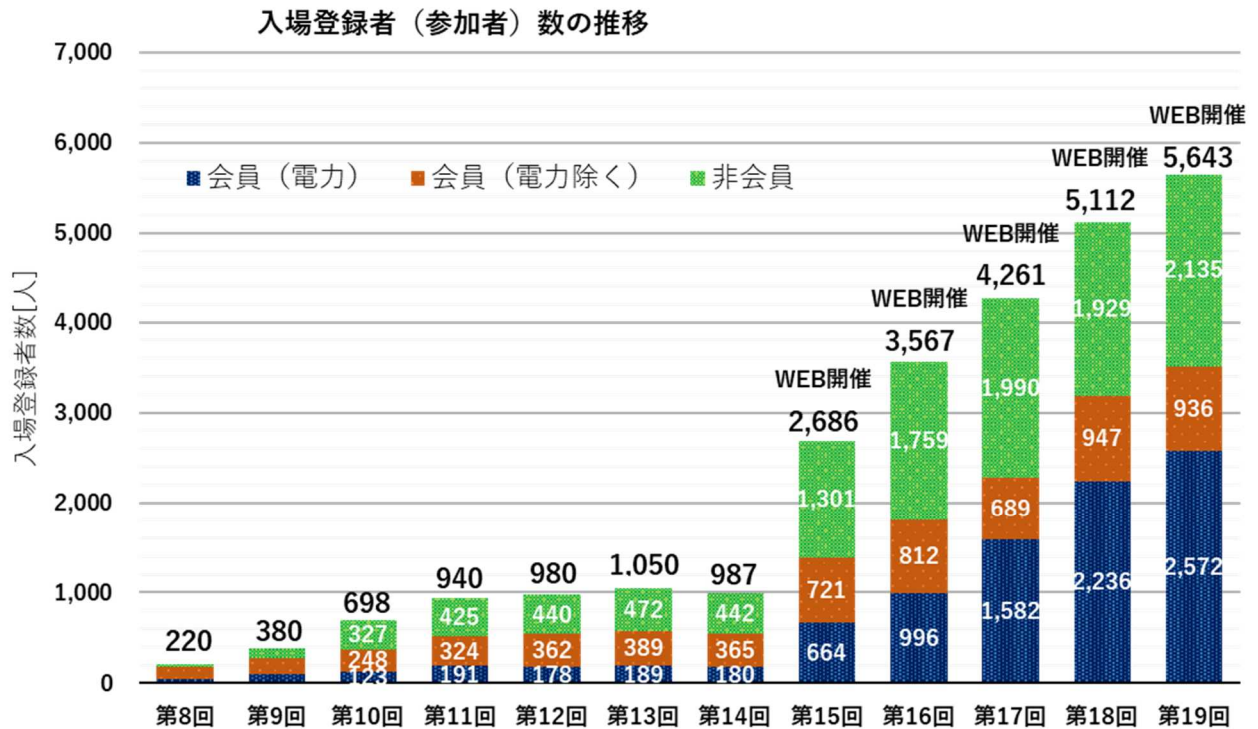
リアルで出逢える企業（会場別）

展示会名	出展企業名	会場	期間
第32回日本国際工作機械見本市JIMTOF2024	株式会社広築 富士電子工業株式会社	東京ビッグサイト	2024.11.05-2024.11.10
2024日本ダイカスト展示会	三建産業株式会社 株式会社広築	パシフィコ横浜	2024.11.14-2024.11.16
フードテックジャパン2024	マイクロ電子株式会社	幕張メッセ	2024.11.20-2024.11.22
ビジネスチャンスEXPO in TOKYO	東京商工会議所	東京ビッグサイト	2024.12.04-2024.12.05
エコプロ2024	メトロ電気工業株式会社	東京ビッグサイト	2024.12.04-2024.12.06
第3回製造業カーボンニュートラル展	関西電力株式会社	東京ビッグサイト	2025.01.22-2025.01.24
ENEX2025	MD I 株式会社 関西電力株式会社 株式会社サクラ 東北電力株式会社 （一財）ヒートポンプ・蓄熱センター （一社）日本エレクトロヒートセンター	東京ビッグサイト	2025.01.29-2025.01.31
コンバーテックジャパン2025	トクデン株式会社	東京ビッグサイト	2025.01.29-2025.01.31
株式会社生活デザイン研究所	メディケアフーズ展2025	東京ビッグサイト	2025.02.26-2025.02.28

3. 実施結果

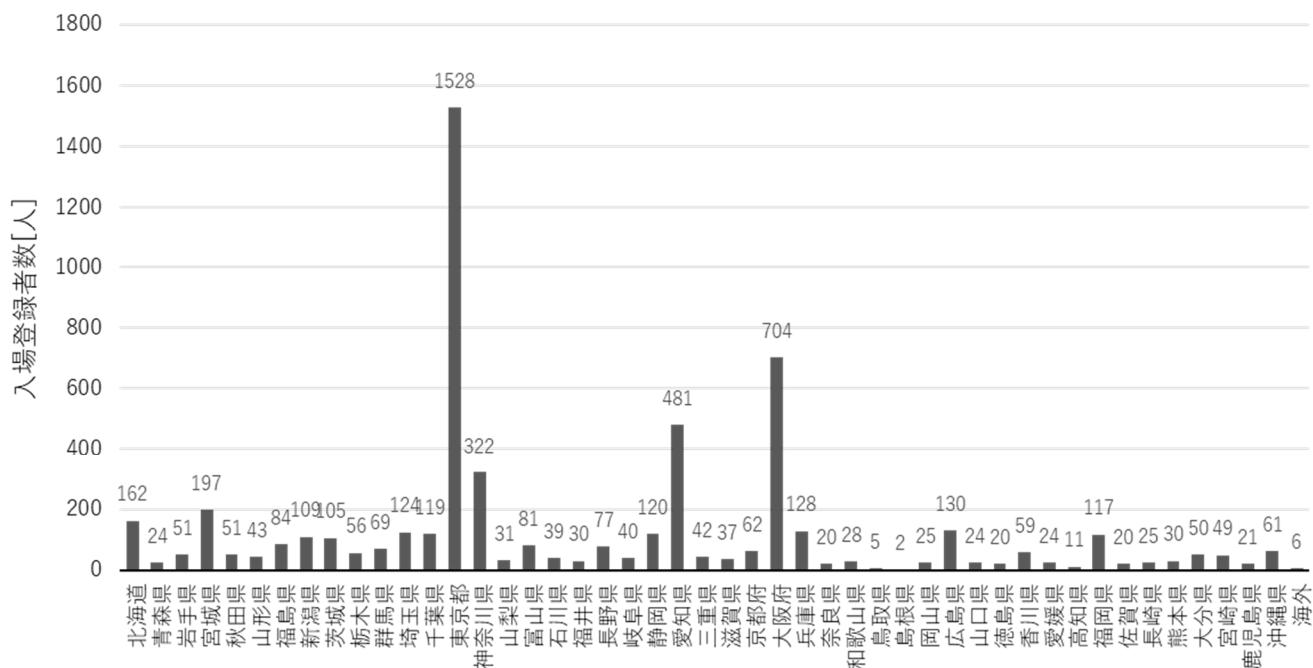
(1) 入場登録者：5,643 名（※昨年度：5,112 名）

会員（電力）：2,572 名、 会員（電力除く）：936 名、 非会員：2,135 名（うち学生 75）



第 19 回エレクトロヒートシンポジウム			第 18 回	
会員	3,508	936	947	3,183
		2,572	2,236	
非会員	2,135	(製造業) 住友電工、トヨタ自動車、三菱重工業、AGC、デンソー、ノーリツ、日立 Astemo、日産自動車、三菱マテリアル、アイシン、川重冷熱、京セラ、マツダ、IHI、荏原製作所、大日本印刷、本田技研工業、エトリア、オカムラ、JFE スチール、住友化学、大平洋金属、ニシム電子工業、日本製鉄、IHI 機械システム、川崎重工業、キッコーマン食品、神戸製鋼所、積水化学工業、DOWA サーモテック、日本ガイシ、ほか	901	1,929
		8 (医療・福祉・飲食・宿泊) 医療法人財団 康生会、JR 西日本ホテル開発ほか	14	
		30 (金融・投資) SMFL みらいパートナーズ、オックス、三菱 UFJ 銀行ほか	11	
		86 (商社・流通・小売) アズビルトレーディング、ダイキンHVACソリューション、ユアサ商事ほか	73	
		264 (エネルギー会社・インフラ会社) NTT 西日本、東京ガス、大阪ガスほか	259	
		292 (建設業・建築関連) 熊谷組、清水建設、竹中工務店、東洋熱工業、大成建設、高砂熱学工業、富士古河E&C、菱熱 ほか	157	
		583 (政府／研究機関／協会／業界団体／大学／その他) NEDO、HP 蓄熱センター、福井大学、三菱総合研究所、省エネセンター、国士舘大学、東京商工会議所、早稲田大学、電事連、富士経済、ほか	514	
合計	5,643		5,112	

(2) 入場登録者属性

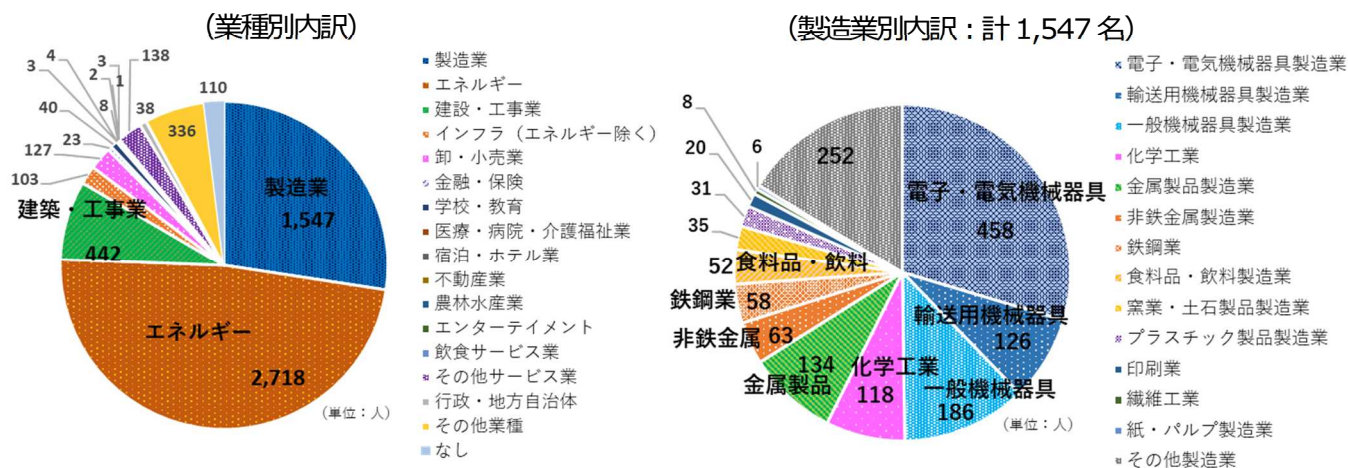


a. 入場地域 (5,643 名)

- ・入場登録者は都道府県別では東京都が突出して多い。(1,528 名 ; 約 27%)
- ・全体の約 42%は東京都を中心とする関東圏 (2,354 名)、残りは関西 (979 名)、中部 (760 名)、東北 (559 名) の順に多く、電力会社の拠点地域を中心に登録者の広がりが見られる。

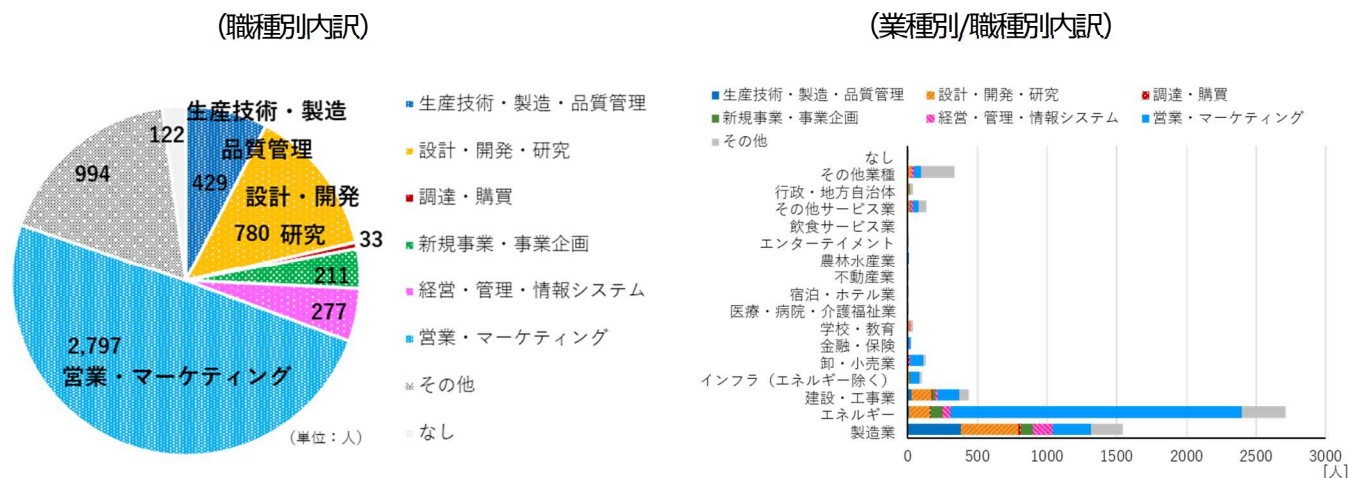
b. 業種

- ・製造業とエネルギーが、全体の約 75%を占める。エネルギーは会員である電力会社が約 9 割を占める。
 - ・製造業の内訳を見ると機械器具製造業 (電子・電気、輸送用、一般) が半数近くを占めておりエレクトロニクスへの関心が高いことが伺える。
- 次いで、金属関連の製造業 (約 9%)、そして化学工業が続いた。
- ・JEHC 会員数の少ない、建築・工事業、サービス業、卸売・小売業などからの入場者も見られ、脱炭素社会への実現に向けた取り組みについて、幅広い業種が関心をもち、参加に繋がった可能性が考えられる。



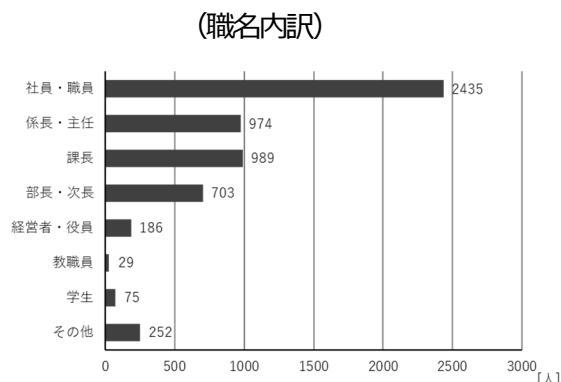
c. 職種

- ・営業・マーケティングが圧倒的に多いが、エネルギー（会員：電力会社）が占める。
- ・生産技術・製造・品質管理は製造業が占める。
- ・設計・開発・研究は製造業、建設・工事業の方々が多くエレクトロニクス技術への関心が伺える。



d. 職名

- ・昨年と傾向は変わらず、WEB 開催により、どこからでも参加できるため実務者の方々に多く来場いただいた。
- ・学生や大学をはじめとした教育機関から 115 名の来場。



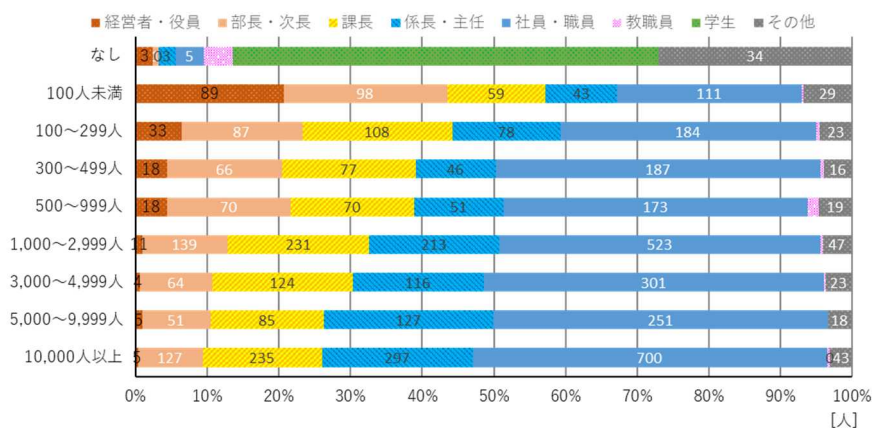
e. 従業員数

- ・従業員数 300 人未満の企業、大学、団体からの参加者は約 2 割を占める。
- ・電力会社が多くを占める従業員数 10,000 人以上を除くと、従業員数 1,000 人～2,999 人の企業が多い。
- ・従業員数毎に d 項の職名割合を当てはめると、従業員数が少ない企業ほど経営者・意思決定者自ら参加されていることが伺える。

(従業員数/参加者数)

従業員数	来場者数
なし	126
100人未満	430
100～299人	516
300～499人	412
500～999人	407
1,000～2,999人	1,169
3,000～4,999人	634
5,000～9,999人	537
10,000人以上	1,412

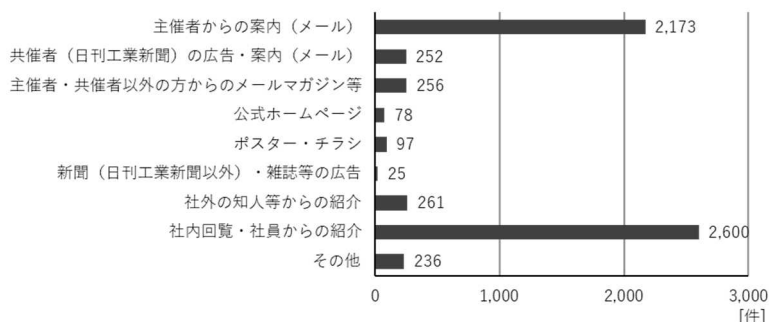
(従業員数別/職名別割合)



f. 来場のきっかけ、目的

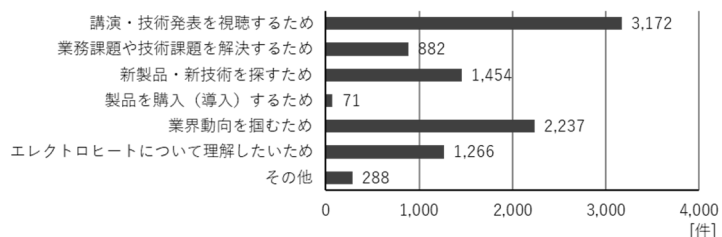
- ・主催者からの案内および社内回覧・社員からの紹介が圧倒的に多い。
- ・JEHCからの案内発信と受けた企業、団体にて関係部署に情報発信、共有された結果と考える。

(きっかけ内訳)



- ・目的の内訳を見ると、講演、技術発表の視聴が多く、次いで業界動向を掴むが続く。
- ・情報収集の場として大いに期待されていると考える。

(目的内訳)

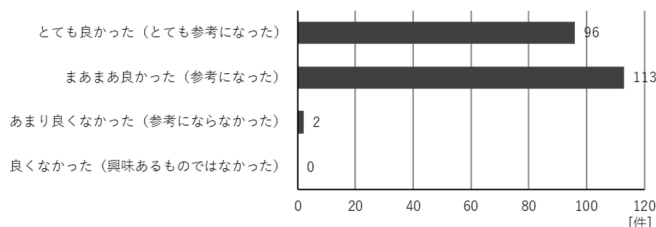


(3) 入場者アンケート回答状況（回収211件；回答率 約3.7%）



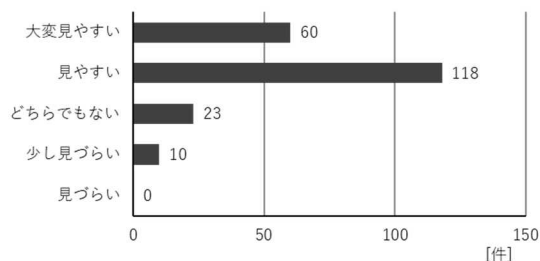
アンケート回答数を増やす目的で、回答者の中から抽選にて「産業用ヒートポンプ活用ガイド」、「電気加熱システム活用ガイド」、「ものづくりに電気 Vol6、7セット」のいずれかを各30名（計90名）に贈呈。

Q. 第19回エレクトロヒートシンポジウムはいかがでしたか。



- ・ほぼ全て（99%）の回答が、「とても良かった」、「まあまあ良かった」と好評を得ている。

Q. 今回のWEBサイトの作り・構成はいかがでしたか。



- ・大半（約84%）の回答が、「大変見やすい」、「見やすい」と評価を得た。
- ・少数ながら10件「少し見づらい」があったが、具体的なコメントは無かった。

Q. WEB シンポジウムのご感想・ご意見・改善すべき点などがあればお書きください。(自由記述)

[回答数 : 33 件]

【総評】

○有意義 (28 件) と好評いただいた。

今まで大きな展示会は見てきましたが、久々に面白い内容の展示を見させていただきました。と
のご意見もあった。

【WEB 開催】

○オンデマンド方式で聴講者の都合に合わせて好きなタイミングで閲覧できるのは、非常にありがたい。(4 件)

出張せずとも自席から参加することができ、タイパ、コスパの面で大変メリットがある。自分の
都合で、最新の情報が何回も納得いくまで閲覧できるのが良い。とのご意見もあった。

●時間があるときに情報収集できるのはありがたい。一方出展企業と直接対話できるリアル開催も復活したらうれしい。

●1日出張で各ブースをまわり、気になったブースで直接担当者に話を聞く方が良い。

【WEB 構成】

○スタート画面が分かりやすかった。

○音質バランスとボリューム感が良く講演が聞き取りやすい。

○動画視聴できるアイテムが増えるとさらに見やすくなる。

●音声状態が気になる動画があった。外部ノイズを拾っているものだと思う。指向性の高いマイクや
口元で拾うなど改善してもらえるとなお良いと思う。

【内容・ボリューム】

○廃熱の利用やヒートポンプ導入が課題であり、講演内容は非常に参考になった。

○事例が多く参考になった。

○大学研究室での研究内容の紹介ページが興味深かった。

4. 事務局総評

・過去最高の 5,643 名の方に入場登録いただき、メルマガ配信はじめ社内外問わず広くご案内いただいたことが数字に表れている。また多くの方がエレクトロヒートに関心を持たれていることが分かる。

・次世代を担う学生の入場者も昨年より増え始めている。

・気になった内容については直接対話したいとの要望もあり、次回はライブ配信数を増やし、エレクトロヒートシンポジウムに出展している企業の他の展示会への出展状況の情報をもっと見やすくお届けしたい。

以 上

参考

(案内リーフレット／WEBページ)

開催期間中 2024年11月1日(金)~11月30日(土)は、
以下のプログラムをオンデマンド配信いたします! <https://jehc-sympo.com>

WEB開催
参加無料



ご挨拶・開会式	電気デカワでGXに貢献 必達!世界をリードする脱炭素技術 内山 洋司 (一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長)	
基調講演	エネルギー政策の方向性について 小崎 真志 氏 (経産省 資源エネルギー庁 資源官 総務課 政策企画課 課長)	
特別講演①	GXに貢献する「エレクトロヒート」の未来 渡邊 弘子 氏 (一般社団法人 電熱技術協会 代表理事(富士電子工業株式会社 代表取締役社長))	
特別講演②	来るカーボンプライシング制度に向けて ~GX政策を振り返る~ 高木 航平 氏 (株式会社ニチコン研究所 エネルギー・サステナビリティ事業本部 GXグループ 研究員)	
技術発表	[送熱加熱] シーズヒーターを結んだ製品と技術のご紹介 新井工業株式会社 新井製品で送熱シーズヒーター・及びシーズヒーター・送熱製品と付随設備、送熱水暖気発生器などのご紹介	
	[電磁加熱] マイクロ波加熱加熱プロセスの開発における真プラスチックの活用可能性 九州大学 工学部工学研究科 真プラスチックを電磁波として加熱し、マイクロ波加熱装置と組み合わせた新しい電磁波加熱の基礎研究についてご紹介	
	[送熱加熱] 送熱加熱の高効率への活用 富士電機工業株式会社 食品、医療、化学工業等での利用例は送熱加熱1,000℃以下、高効率で2,000℃に達する中、2,000℃以上では3,000℃に達する電磁波加熱装置についてご紹介	
	[赤外線加熱] 赤外線・熱風ハイブリッドによる塗料乾燥工程の革新 コーナック株式会社 自動車塗料分野においてCO2削減が最大の30%である塗料乾燥工程に赤外線と熱風を組み合わせた赤外線・熱風ハイブリッドの乾燥機と、赤外線と熱風を応用した乾燥機についてご紹介	
	[アーク加熱] 電熱による「脱炭素社会」と「循環型社会」への貢献 東京電機工業株式会社 電熱こそで、低スラップ送熱によるCO2削減、再生エネルギーの活用、高効率の電熱炉上(グリーン鋼鉄プラント)など、貴社の課題を解決	
	[ヒートポンプ] 補助金も活用可 MVR型蒸気加熱装置でCO2排出量最大80%削減 株式会社サクラ 製薬・食品・化学・材料・エネルギー分野のCO2削減に貢献するMVR型蒸気加熱装置の導入事例、事例を大々力強くご紹介	
	[ヒートポンプ] 新型モジュールチラー「HEXAGON GX」と遠隔監視制御・システム性能診断サービスについて ダイキン工業株式会社 オールインワンマイクロチラー型加熱装置採用、省エネ性と高効率性を両立したモジュールチラー「HEXAGON GX」と遠隔監視制御・システム性能診断サービスのご紹介	
	[ヒートポンプ] IEAヒートポンプ技術協力プログラムAnnex 58 (高圧ヒートポンプ) の参加報告 一般社団法人電力中央研究所 高圧ヒートポンプの技術開発で期待したプロジェクトAnnex 58の活動結果を日本・海外の共通点や課題について報告し、今後の日本における技術開発と方向性を共有	
	[ヒートポンプ] 洗浄工程向け循環加熱ヒートポンプ「エコデヒートEX」の開発 中部電力株式会社 循環加熱の洗浄工程に特化した循環加熱ヒートポンプ「エコデヒートEX」の特長や省エネ性についてのご紹介	
	[熱利用電化] loK-PFを活用した様々な製薬工程の管理と衛生管理を一元化できるシステム フクシマシリコン株式会社 100%で利用して様々なメーカーの製薬工程で一度管理し、製造・流通までHACC管理に必要なデータの取得、品質管理との連携が可能な新しいシステムのご紹介	
期間限定 特別配信	配信期間: 11/5(火)~11(月)	顧客対策と、CO2削減の両立を目指した自然エネルギー活用による高効率車庫交換システムについて MCK株式会社
	配信期間: 11/12(火)~18(月)	ヒートポンプ導入検討のノウハウ研修サービス ほっとコンサルティング株式会社
	配信期間: 11/19(火)~25(月)	企業脱炭素に向けた脱炭素化とは ~脱炭素の計画策定から具体策の実行まで~ 関西電力株式会社
最新大発表 GXに貢献する 技術発表	大阪大学大学院工学研究科 下田研究室、大阪大学大学院工学研究科 芳澤研究室、九州大学大学院 食品製造工学研究室、 国士堂大学理工学部 二ノ宮研究室、東京電機大学 建築エネルギー研究室、東北大学大学院工学研究科附属 超微細構造工学研究センター、 山形大学大学院理工学研究科 古川研究室	
パナール展示	パナール展示40番: MCK、L-TRISE、沖崎電力、近藤、カシワバ工業、関西電力、九州電力、高尾波熱機、コベルコ・コンプレッサ、サクラ、 四国電力、東田理化学工業、省エネルギーセンター、生活デザイン研究所、第一高尾波工業、ダイキンアプライドシステムズ、ダイキン工業、 谷口ヒーターズ、中部電力、中部電力ミライズ、テクノカシワ、電気興業、電気事業連合会、電力中央研究所、東京電力エナジーパートナー、 東京電力エナジーパートナー、東北電力、トクデン、日本キヤリア、日本電熱、ヒートポンプ・蓄熱センター、日立プラントサービス、広島、富士電機、 富士電機、富士電子工業、富士電機工業、富士電機工業、プラウテック、北陸電力、北海道電力、新潟県電力、三井工業、ミクロ電子、 三菱重工サーマルシステムズ、三菱電機、メトロ電気工業、電化新機ドットコム、日本エレクトロヒートセンター (50番)	

お問い合わせ先
一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター
TEL:03-5642-1733 FAX:03-5642-1734 E-mail: sympo@jehc-center.org

紹介コード

第19回
エレクトロヒート
シンポジウム

WEB開催

参加無料

EHS2024

11月1日(金)~11月30日(土)



電気のチカラで
GXに貢献
めざせ!

世界をリードする脱炭素技術

GX実現するために必要な
エレクトロヒート技術「産業電化」の
最新の動向をご紹介します

※**申込方法**(入場登録の際にIDを発行します)
 特設WEBサイト入場登録の際に発行するID・パスワードで、登録期間中はいつでもサイトに再入場いただけます。

<http://www.ehronline.com>

19期エレクトロニクス系部員

特設WEBサイト

興産エリア



● 基調講演：
経済産業省 資源エネルギー庁一庁
小島 龍志氏



●特別講演①:
一般社団法人ものづくりなでしこ
理事長 弘子氏



●特別講演⑩:
株式会社 三菱総合研究所
高木 航平氏

注記見直しエリア

各分野の専門員によるプレゼンテーション：10テーマ
演習わり質疑応答特別配置：3テーマ

パースナル展示エリア

42歳で定年・団塊・研究費切れが懸念

NEW 読者アップデートのお知らせ

この度、新たに「解題」や「用語」で絞り込める資料を追加/
 知りたい経路や注目したい企業をより効果的に抽出できます。



品番「—」販売店法人 日本エレクトロニクス—トセンダ—

定價：一冊七角五分
全書三冊計二角二分

编辑：陈洪福等。商务印书馆，1984年。

協賛：「(一)エスエスピー 東京支部、(二)化学工学部、(一七)横浜共創イニシアチブ、(三)サテライト 青生工学部、(一四)月形可雄エスエスピー奨学支援財団、(一六)信エスエスピーセンター、

＜会＞電写センター、＜セ＞国際連通文化に全国ネット、＜エ＞電気学会、電気学振興委員会、＜エー＞電子情報技術振興協会、＜金＞電力中央研究所、＜ケ＞日本放送振興委員会、＜ク＞日本機械学会、

(一) 乙本不藏其工部局告示。(二) 乙本不藏其工部局告示。(三) 乙本不藏其工部局告示。(四) 乙本不藏其工部局告示。(五) 乙本不藏其工部局告示。(六) 乙本不藏其工部局告示。(七) 乙本不藏其工部局告示。(八) 乙本不藏其工部局告示。(九) 乙本不藏其工部局告示。(十) 乙本不藏其工部局告示。

[illegible][illegible]

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER

[illegible][illegible][illegible]

会場MAP



基調講演・特別講演



技術発表エリア



期間限定特別配信

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら

〒103-0011
東京都中央区日本橋区本町11番7号 日本橋大宮ビル4F
TEL: 03-5642-1733 FAX: 03-5642-1734

Copyright © 日本エレクトロヒートセンター All Rights Reserved.

期間限定特別配信

1回目 11月5日（火）～11月11日（月）

開催対象と、CO2削減の両立を目指す自然エネルギー活用的高效熱交換器システムについて

MDI株式会社

外気4℃以上が実現化し、従来のエアコン、空調システムの設備費とコストの削減を実現。自然エネルギーの観点から見た最新の研究開発事例に基きご提案

[ダイジェスト版](#)
[資料ダウンロード](#)
[パナーナ展示会場へ](#)

2回目 11月12日（火）～11月18日（月）

3回目 11月19日（火）～11月25日（月）

ダウンロードはこちら
掲載で最新をプレゼント！

TOPIC 見る

バーチャル展示エリア

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら

〒103-0011
東京都中央区日本橋区本町11番7号 日本橋大宮ビル4F
TEL: 03-5642-1733 FAX: 03-5642-1734

Copyright © 日本エレクトロヒートセンター All Rights Reserved.

バーチャル展示エリア

電気加熱 ヒートポンプ エネルギー金融 熱効率化設備 研究機関・団体 出展者50音順

富士電機株式会社
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

バーチャル展示ページ（出展ページ）

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら

〒103-0011
東京都中央区日本橋区本町11番7号 日本橋大宮ビル4F
TEL: 03-5642-1733 FAX: 03-5642-1734

Copyright © 日本エレクトロヒートセンター All Rights Reserved.

バーチャル展示ページ（出展ページ）

電気加熱 ヒートポンプ エネルギー金融 熱効率化設備 研究機関・団体 出展者50音順

富士電機株式会社
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献
エネルギー・環境で持続可能な社会に貢献

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

株式会社加島
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする
電気技術で暮らしをより快適にする

お問い合わせ

どのようなことでお問い合わせになりましたか、※
☐ 資料請求 ☐ 製品、活動に関心がある ☐ 製品導入や活動参加を検討している ☐ 他社 他団体の活動

お問合せ、ご質問などご自由に記入ください。
 どのようなことでも結構です。後日担当者からお答えさせていただきます。

送信する

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら

〒103-0011
東京都中央区日本橋区本町11番7号 日本橋大宮ビル4F
TEL: 03-5642-1733 FAX: 03-5642-1734

Copyright © 日本エレクトロヒートセンター All Rights Reserved.

お問い合わせ

どのようなことでお問い合わせになりましたか、※
☐ 資料請求 ☐ 製品、活動に関心がある ☐ 製品導入や活動参加を検討している ☐ 他社 他団体の活動

お問合せ、ご質問などご自由に記入ください。
 どのようなことでも結構です。後日担当者からお答えさせていただきます。

送信する

[illegible]

01 電気のチカラでGXに貢献 お仕事紹介

最新動画

カーボンニュートラル実現へ！ 走り続ける若者たち！



カーボンニュートラルの実現へ
若き仲間たちの思い

「カーボンニュートラルの実現へ」最先端活動の紹介動画



「カーボンニュートラルの実現へ」最先端活動の紹介動画

わたしたちの生活を支える力でありたい。そしてこれからの未来のために、役職に関係なく、つぎつぎと成長したい仕事仲間との声をお届けします。

若者を引っ張っていくリーダーの姿をご紹介します。

部長 部長



カーボンニュートラル推進室 部長

部長 部長



電力事業推進室 部長

カーボンニュートラルの推進は
若い力が必要です！

お仕事 Interview

研究・開発



電力事業推進室 研究・開発課

営業・販売



電力事業推進室 営業・販売課

技術・開発



電力事業推進室 技術・開発課

営業・設計・施工



電力事業推進室 営業・設計・施工課

[illegible]

エレクトロシートの何がいの？

電気による加熱（エレクトロシート）は、調理を待たないことから、作業環境の改善、二酸化炭素の排出量も少なくできます。

多くのメリットの中から最も重要な7つのメリットをご紹介します。またそれらのメリットにより、生産コストの削減と生産品質の向上という重要なポイントにも貢献しています。

- 1 電気加熱**
 加熱にガスや油を必要とせず、電気だけで加熱が可能です。
- 2 温度調節**
 温度コントロールが容易で、加熱温度を一定に保つこともできます。
- 3 動作安静**
 従来の加熱方法と比べて、動作音が非常に静かです。
- 4 温度変動低**
 加熱の中心温度が均一で、温度変動が非常に小さいです。
- 5 加熱速度速**
 従来の加熱方法と比べて、加熱速度が非常に速いです。
- 6 燃焼ガス発生しない**
 燃焼ガスが発生しないため、作業環境の改善に貢献します。
- 7 燃焼油発生しない**
 燃焼油が発生しないため、作業環境の改善に貢献します。

SDGs との関係は？



エシクトロヒート様へ。

「SDGsの達成に向けて企業活動を通じて貢献」の旨の一つとして活動されています。
 企業活動の可能性範囲や環境負荷低減の取り組みにおいて重要な役割を果たしています。

エシクトロヒートとSDGsの関係は結びついていきます。



「資源の適切な管理をめざす」

SDG12「資源の適切な管理をめざす」は、資源の管理、人類生活と自然との、経済活動の持続可能性を向上させることが必要。資源をなくさないことです。



「気候変動に具体的な対策を」

気候変動は地球の生態系や社会に、深刻な被害をもたらす。気候変動を防止し、被害への脆弱性を減らすことが必要です。



「海洋と沿岸資源の持続可能な利用」

海洋生態系に依存する食料と、沿岸地域に集中した、高度な観光や工業などSDGsの達成に貢献する産業を確保、強化することが必要です。



「陸生の生態系、森林と淡水」

陸生の生態系や森林は、食料や資源の供給や気候変動の緩和に必要。森林資源の持続可能な管理、森林を失った地域を回復することが必要です。

（各目標の達成にSDGsの他の目標も関係しています）



水と衛生の確保は食料や工業、高度な観光や工業など達成するために必要です。また、水と衛生の確保は、気候変動の防止、森林資源の持続可能な管理と、森林を失った地域を回復することが必要です。

03

なるほど なるほど 電気の手カラ

さまざまな素材にもよく馴染み

傷害を伴わない掃除

電気の手カラは一般家庭から店舗・会社・学校・病院・公共施設・工場など幅広い場所で活躍しています。
 1. 1. 2. 2. 3. 3. 4. 4. 5. 5. 6. 6. 7. 7. 8. 8. 9. 9. 10. 10.

手カラを押し下げて「押し」モードへ！

▼

吸引モード

電気の手カラに「吸引モード」を切り替えて「押し」モードから吸引モードへ



床・壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

押しモード
（通常モード）

電気の手カラの「押しモード」で押し掃除が可能な場所へ吸引モードへ



壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

吸引モード

電気の手カラに「吸引モード」を切り替えて「押し」モードから吸引モードへ



床・壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

押しモード
（通常モード）

電気の手カラの「押しモード」で押し掃除が可能な場所へ吸引モードへ



壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

押しモード
（通常モード）

電気の手カラの「押しモード」で押し掃除が可能な場所へ吸引モードへ



壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

吸引モード

電気の手カラに「吸引モード」を切り替えて「押し」モードから吸引モードへ



床・壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

押しモード
（通常モード）

電気の手カラの「押しモード」で押し掃除が可能な場所へ吸引モードへ



壁・天井・カーペット、あらゆる場所へ対応
→ 押し ↓

04
電気の子カラで世の中を変える 仲間たち
Let's see SM people !!
各工コパターより各企業のリクルートサイト(会社紹介)へ直接アクセスできます

[illegible]